

中学部 数学科

「おかしエネルギー、水エネルギーをいっぱい集めよう！」

- ・楽しい活動がしたい。
- ・分かりやすい活動がいい。
- ・一人ずつ順番に活動することで安心できる。
- ・物語の世界をユーモアたっぷりに楽しみたい。



- ・目に見えない「重さ」を体感しながら学んでほしい。
- ・具体物の操作を中心に、重さを体感できる活動を設定したい。
- ・心惹かれ「やりたい」と主体的に取り組む場面設定をしたい。
- ・ロケットのストーリーや世界観に浸らせた。
- ・感覚的な楽しさが感じられるようにする。こぼれるかもしれないスリル、ドバーッと移し替える気持ちよさを感じさせたい。



①「おかしとゼリーのつかみどり大会！」

- ・スコップやバケツで、おかしをつかみどりしました。
- ・はかりに乗せて、重さを調べました。

工夫点

- ・「せーの」でおかしやゼリーをプールいっぱい広げ、活動への期待感が高まるようにしました。
- ・一人ずつ順番につかみどりをするで見通しをもたせ、安心して活動に取り組めるようにしました。

「何グラムになったかな？」

はかりの針が動く様子を見て、もっとおかしを乗せようとしていました。



バケツで一気にとっちゃえ
バケツが一番たくさん取れると考えたAさん。同じ種類のおかしを重点的に集めていました。

活動②「おかしエネルギーをためて、ロケットをとぼそう！」

- ・「みんなでたくさんのおかしエネルギーをためよう」というミッションを確認し、見通しをもちました。
- ・全員で同時に活動をはじめ、協力しておかしをロケットに積んでいきました。

工夫点

- ・触る、運ぶ、移す、など感覚的な楽しさを感じられるような活動を設定しました。

「おもっ！！」

教師から手渡された瞬間、予想よりもずっしり重く、おどろくBさん。



「これで運んでいこ」

良い方法を考え、友達と協力しておかしを運びました。

